

News Release

2024年6月17日

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構発行の 「ソーシャルボンド」への投資について

JESCOは、このたび、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド(1)（以下「本債券」という）への投資を実施いたしました。

JESCOは、「基本理念と行動指針」にもとづき、PCB 廃棄物処理事業と中間貯蔵事業や社会貢献活動を通じ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）(2)の達成に貢献するように努めています。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う高速道路事業における債務のリファイナンスに充当され、「持続可能で強靱な国土の形成」、「地方創生・地域活性化」という社会的課題の解決に活用されます。同機構の事業は、国連の策定する持続可能な開発目標（SDGs）(2)のうち、「目標3：すべての人に健康と福祉を」、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」、「目標13：気候変動に具体的な対策を」等の達成にも貢献します。

今後もソーシャルボンドなどの ESG(3)投資を通じた社会貢献活動に取り組んでまいります。

(1) ソーシャルボンドとは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のこと

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月に国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

(3) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

<本債券の概要>

債券名：第330回独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構債券（ソーシャルボンド）

発行額：総額200億円

期間：5年（2029年6月15日償還）

<連絡先>

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

管理部 経理課 長谷川・本田（03-5765-1914）